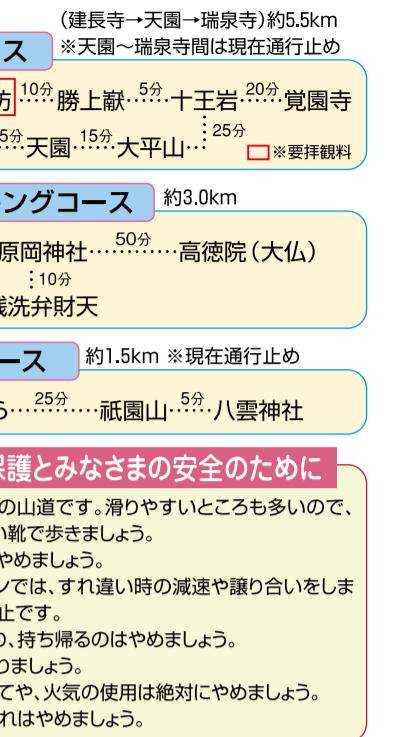


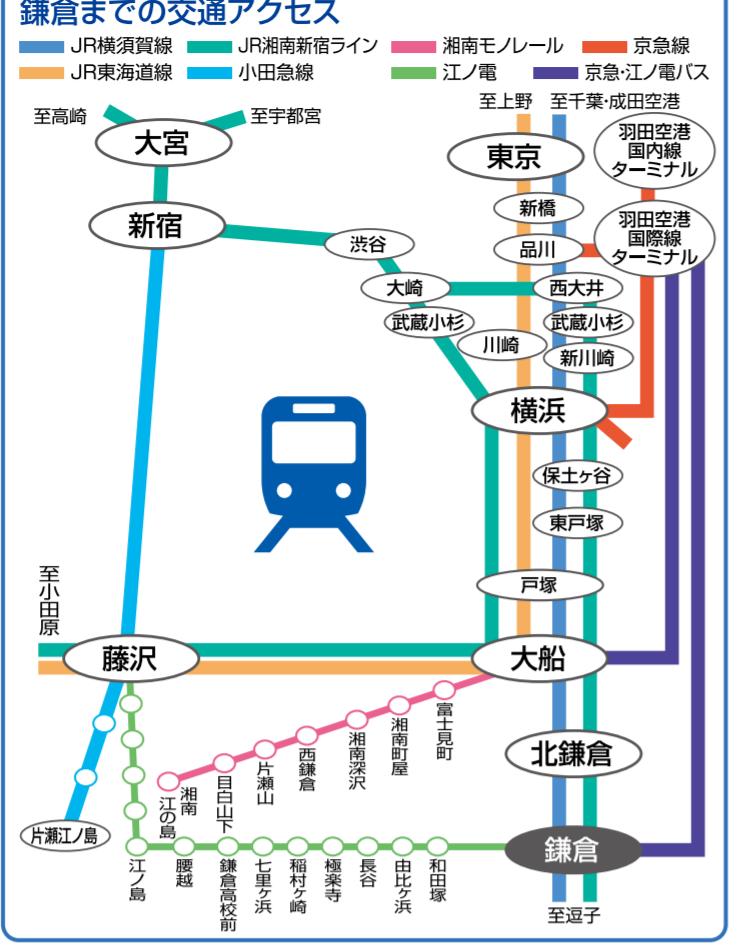
ハイキングコース



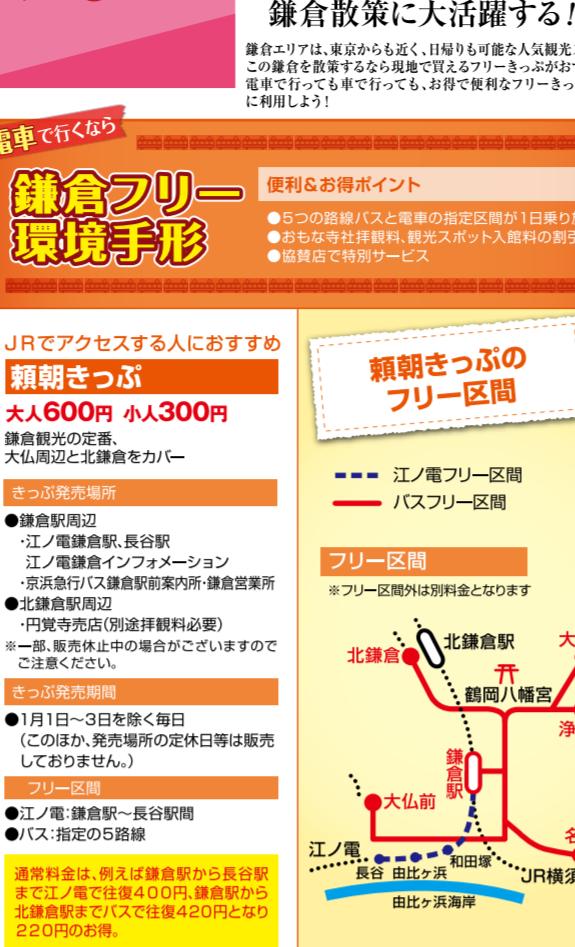
Cultural Scene & Arts

アーケス

アクセス



フリーきっぷ



One-day pass



文化

鎌倉の風土や時間に育まれた文化の息吹にふれる…



この美術館は、近代日本画の巨匠鎌倉清方伯の終焉の地、鎌倉雪ノ下の旧居跡に建てられました。古都鎌倉の閑静な住宅地の中に、和風建築物が端正なたたずまいをみせています。

鎌倉清方は、多くの優れた作品を描き、昭和21年から鎌倉に住みました。抒情性豊かな女性の姿や、いきいきとした庶民生活を題材として描かれた作品は、市井の人々への共感や慈愛のまなざしが感じられます。

鎌倉文学館



当植物園では、園内に3,000種を超える品種の植物が、四季折々に美しい花を咲かせています。また、季節に応じた各種展示や、園芸教室、園芸相談なども随時開催しています。

大船フラワーセンター



関東大震災で重要な文化財が被災したことを教訓に、昭和3年に開館した歴史・美術の博物館で、校舎造りを模した建物が特徴的です。鎌倉地方の彫刻・絵画、工芸・書跡、古文書・考古資料など多くの文化財を展示・保管しており、常設展示や年6回程度の特別展を開催しています。

鎌倉国宝館



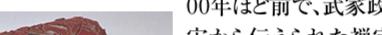
映画の発展に大きく貢献した川喜多長政・かしこ夫妻の旧宅跡に開館した施設で資料の展示の他、映画上映や講演会などを楽しめます。かつての面影をそのままに復元した板塀、平屋建ての和風建築、豊かな庭園など周囲の環境に調和した建物で古都鎌倉の落ち着いた雰囲気をかもし出しています。

鎌倉歴史文化交流館



鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験、交流できる場として、平成29年5月にオープンした博物館施設です。イギリスの著名な建築家ノーマン・フォスターの事務所が設計した個人住宅を活用し、鎌倉で発掘された出土品をメインに、古墳・古代から近現代に至る鎌倉の歴史を紹介しています。ジョルマ・プロジェクトによる最新の映像展示や、中世の景観を彷彿とさせる庭園、高台からの海の眺望も必見です。

鎌倉影



鎌倉影が作られるようになったのは、今から800年ほど前で、武家政治の中心となった鎌倉は、宋から伝えられた禅宗が広まり多くの禅宗寺院が建てられました。それと共に禅僧による中國との交流も深まり、たくさんのお土産品が入ってきます。中に、椎朱・黒墨と呼ばれる、漆を何回も塗り重ねて厚い層とし、その漆の層に彫刻した彫漆工芸品がありました。当時の仏師や宮大工たちは、これと同じようなものを作ろうとして、木に直接文様を彫刻して漆を塗る方法を考え出しました。これが鎌倉影のはじめです。伝統的工芸品である鎌倉影は、現在、市内の鎌倉影の店で、盆、茶托、菓子器、鏡など様々な華麗な作品が作られています。

坐 禅

参 加 し ま す

参 加 し ま す

■ 円覚寺

●

・日曜説教坐禅会

●

・暁天坐禅会

●

・土曜坐禅会

●

● 合せ先 / 0467-22-0478

●

■ 大船觀音寺・日曜坐禅会

●

● 合せ先 / 0467-43-1561

●

■ 大船・坐禅会

●

● 合せ先 / 0467-22-0981

●

■ 宝戒寺・坐 禅

●

● 合せ先 / 0467-22-5512

●

■ 報国寺・日曜坐禅会

●

● 合せ先 / 0467-22-0762

●

■ 鎌倉影体験

●

● 参加してみよう

●

■ 鎌倉影資料館(鎌倉影館内)

●

● 参加してみよう

●

■ 報国寺

●

● 合せ先 / 0467-22-0762

●

■ 鎌倉影工芸館

●

● 合せ先 / 0467-23-1014

●

http://www.kamakuraboroi.or.jp

History

国指定史跡 永福寺跡

源頼朝が建立した寺院「永福寺」の跡地で、鎌倉市二階堂に所在します。永福寺は奥州合戦で亡くなったり人々の鎮魂のため、平泉の中尊寺を模して建立されました。現在は、建長寺の本堂を二階堂氏は、この周辺に邸宅を構えました。

国指定史跡 法華堂跡(源頼朝墓・北条義時墓)

鎌倉市西御門に所在します。現在の源頼朝廟があるあたりに、生前は頼朝の持仮堂がありました。北条義時廟は、源頼朝廟の東側に隣接して建てられており、その後の幕府守護の精神的なよりどころとなつた施設です。平成17年に行なった発掘調査では、建物の礎石等が発見されました。

妙本寺(比企氏所縁 4代將軍九条頼経正室竹御所の墓あり)

妙本寺は、比企能員一族屋敷跡の谷戸にあり、4代將軍九条頼経正室竹御所の墓に近く階段脇に鎌倉時代に「万葉集」校訂の偉業を成し遂げた僧空覚を顕彰する石碑があります。また同寺は、小林秀雄と中原中也との和解の場所としても知られています。

満福寺(義経「腰越状」所縁)

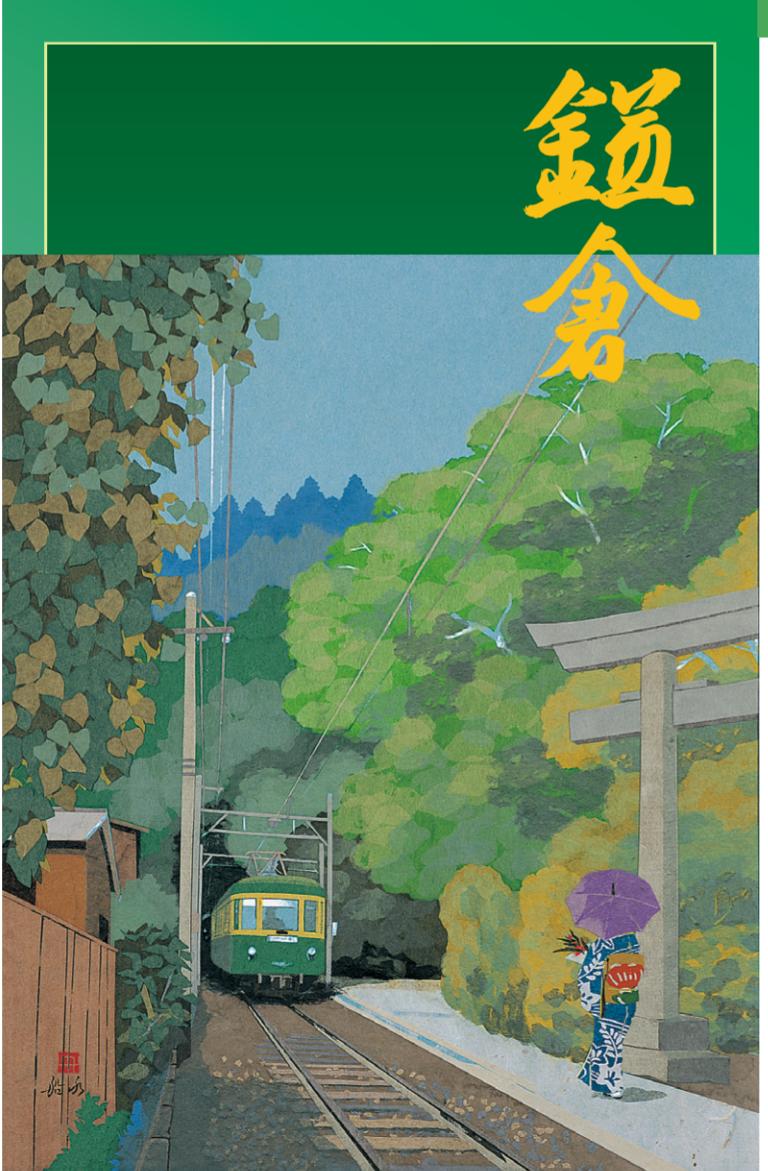
源義経が兄頼朝の怒りを買ひ、鎌倉入りを許されず腰越に留められた際、自らの心情を訴える腰越状を書いた寺として知られています。弁慶筆とされる腰越状書きの書状展示があり、境内には弁慶の腰掛け石など義経・弁慶ゆかりの品々が多数展示されています。

ロールケーキ・オムレット・チョコレートのお菓子屋さん

atelier VANILLE 鎌倉

鎌倉市雪ノ下1-11-2 ☎(0467)60-1432

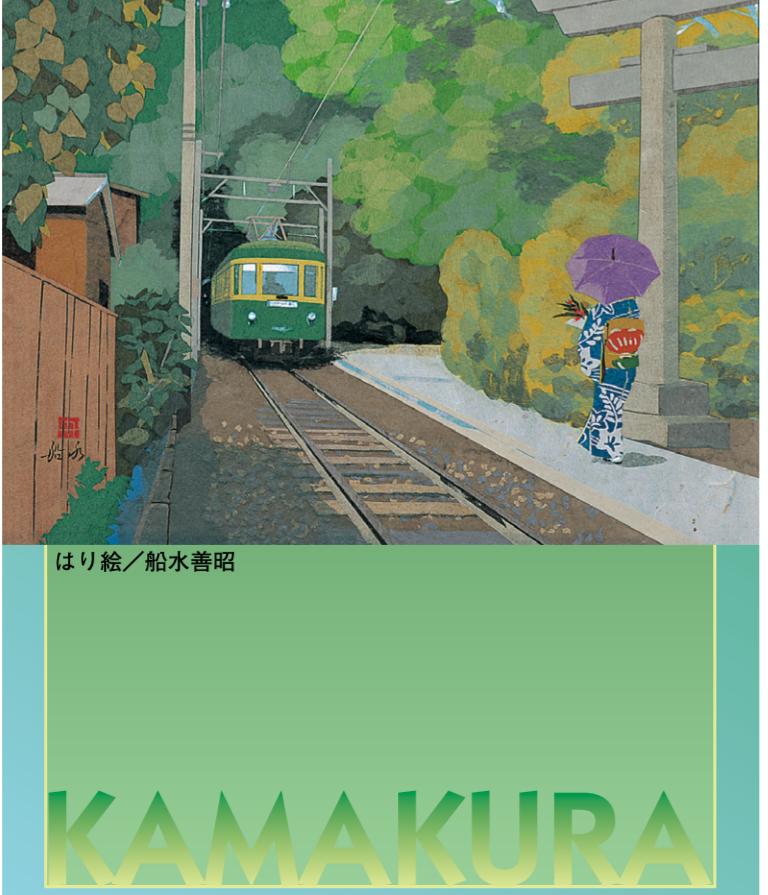
https://atelier-vanille.com



Maker's|鎌| Shirt|倉|

鎌倉市雪ノ下1-11-2 ☎(0467)60-1432

https://shirtofshirt.com



編集・発行 / 令和3年(2021年)7月 鎌倉市市民防災部観光課
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

ホームページ https://www.trip-kamakura.com

ツイッターアカウント @kamakura_kankou

(注)この地図の全部または一部を無断で複製使用することを禁じます。

康平6年(1063)に源頼朝公が由比郷に京都の石清水八幡宮をそかに勧請したのが始まりで、治承4年(1180)に源頼朝公が鎌倉の中心にまつる、現在の地へ移したもの。その後、頼朝公が建久3年(1192)に征夷大将军となり、頼朝公による鎌倉のまちづくりは鶴岡八幡宮を中心に行なわれました。今でも、本宮への階段を上ると海を背景とした鎌倉のまちが望めます。石段を上がった所にある楼門には隨神像が安置され、現在の本殿は11代将軍徳川家斉の命により文政11年(1828)に造られたものです。参道にあたる「段葛」は頼朝公が妻、政子の安産を祈願して建設したと伝えられています。